令和８年第９回定例教育委員会会議録

1	開催日	令和８年９月２９日（火）
2	開催場所	市役所本庁舎３０１会議室
3	出席した委員	教育長 中川宣芳　委員 加藤由美 委員 野中亮秀　委員 古田重紀 委員 纐纈由美
4	欠席した委員	なし
5	説明のために出席した職員	教育部長 矢本博士　健康生きがい支え合い推進部長 永井政栄 こども未来部長 川尻卓哉　教育部次長 長谷川隆司 健康生きがい支え合い推進部次長 高木晶子　こども未来部次長 野田弘 教育総務課長 丸藤卓也　学校給食課長 勝山貴之 学校給食課主幹 小川敬介　学校教育課長 櫻井晃生 学校教育課管理指導主事兼主幹 大久保和則　学校教育課指導主事兼主幹 松浦由美 学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹 瀬尾宗利　文化財課長兼小牧山課長 大野将嗣 図書館長 大野竜二　文化・スポーツ課長 藤田伸也 市民センター管理課長 宮下美則　こども政策課長 小川喜世子 幼児教育・保育課長 臼井勇気　幼児教育・保育課主幹 丹羽英智 幼児教育・保育課指導保育士 近藤江里子　教育総務課庶務係長 若林剛
6	本委員会書記	教育総務課庶務係主査 河村俊之　教育総務課庶務係主任 熊崎知沙
7	議題	議案第５３号　小牧市スクールバス利用ガイドライン（篠岡地区）の策定について
8	報告及び連絡事項	報告第　１号　行政文書の開示について 連絡事項　１０・１１月行事予定 報告第　２号　令和８年度全国学力・学習状況調査について 報告第　３号　小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について 報告第　４号　小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について 報告第　５号　小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について

＜開会　午後２時００分＞

公開会議

〇教育長（中川宣芳）

それでは、ただいまより令和８年第９回定例教育委員会を開催いたします。

本委員会に３人の傍聴の申出がありましたので、ご報告をさせていただきます。

それでは、８月１７日開催の令和８年第８回定例教育委員会及び９月７日開催の令和８年第５回臨時教育委員会の会議録につきましては、お手元にお示しのとおりご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、会議録は承認とさせていただきます。

続きまして、私から教育長報告をさせていただきます。

この間２学期を迎えたと思ったら、９月もはや最終週を迎えました。

市内中学校におきましては、中間テストを終え、１学期に実施した１校を除き、８校が体育大会を間近に控え、学級が一つにまとまる貴重な時間を過ごしていることと思います。小学校におきましても１０月の半ばに運動会が予定されており、年に１度の運動の発表の場として準備に精力的に取り組んでいるものと思います。

そうした学校行事が計画される２学期ではありますが、今年は既にインフルエンザの流行が始まりまして、市内でも学級閉鎖の措置を取らざるを得ない学校が出てきていることに、危惧するばかりであります。児童生徒一人ひとりが、健康で笑顔あふれる充実した学校生活を送ってくれることを強く願うばかりであります。

また、市内に目を向けますと、９月１９日土曜日には毎年恒例の小牧山薪能が催されました。昨年は雨模様の天候で、市民会館を会場に変更し実施いたしましたが、今年は天候にも恵まれ、計画通り小牧山史跡公園で実施することができ、市内外の多くの皆様に、幽玄の世界を堪能していただくことができました。

さらには、時を同じくしてアジアのスポーツの祭典、アジア大会が開幕をし、シルバーウイークの真っただ中の２２日火曜日にパークアリーナ小牧を会場に、女子バレーボールの決勝戦、３位決定戦が行われ、チームの勝利、メダルを目指して熱い戦いが繰り広げられました。今週からは、男子のバレーボールが開催されており、１０月１日木曜日には市内小中学校の児童生徒も、全員ではありませんが、会場で観戦できる予定になっています。国を代表するチームの熱戦を直接観戦することで、多くの感動を味わってもらえることを期待しています。

今後も学校現場だけでなく、市内様々なところで、多くの行事が計画される時期を迎えています。それぞれが、滞りなく順調に進められるとともに、楽しい思い出が心に刻まれることを願うばかりです。

私からの報告は以上であります。

続きまして、部長報告をお願いします。

矢本教育部長。

〇教育部長（矢本博士）

私からは、３件の報告をさせていただきます。

最初に、小牧市議会第３回定例会についてであります。

まず９月２日、３日、４日の３日間にわたり一般質問が行われ、教育委員会関係では９名の議員から質問がありました。詳しい質問内容につきましては、お手元の一般質問発言通告内容をご確認ください。よろしくお願いいたします。

また、９月１５日開催の本会議において、議案及び請願の審議が行われました。

議案審議につきましては、教育委員会関係分の議案として提出しておりました条例案１件、一般議案１件、令和７年度一般会計歳入歳出決算、及び令和８年度一般会計補正予算につきましては、いずれもご議決をいただきました。

請願審議につきましては、教育委員会関連の請願として２件の審議が行われ、「新たな「定数改善計画」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書」につきましては採択、「小牧市東部地区の学校再編計画に関する拙速な実施の延期を求める請願書」につきましては不採択とされました。

続きまして、令和９年度の小牧市の予算編成方針が９月１日に決定されましたので、内容を要約して報告をさせていただきます。

『本市の財政にあっては、歳入面では、令和７年度決算における市税収入全体では、前年度決算額を上回ったところでありますが、長引く物価高騰や人件費の上昇、労働力人口の減少に加え、中東情勢の影響は依然不透明であり、今後の収入見通しは楽観視できません。また、歳出面では、社会保障関連経費の増加に加え、物価高騰や人件費の上昇が委託料をはじめ様々な経費の上昇圧力となっており、事務事業の見直しなど歳出削減の取組が急務となっております。

そこで、令和９年度の予算編成に当たっては、業務刷新検討結果に基づく歳出削減及び業務効率化の取組を着実に予算に反映させるとともに、限りある経営資源の中でも持続可能で安定した財政運営が行えるよう、経常的な事業を含めた既存事業の徹底した見直し・改善により、経費の節減合理化を行ったうえで、必要な財源を重要施策に優先的に配分することとします。

すなわち、施策目的の達成に向け、より効果の高い事業に重点配分するために、各部・課が主体的かつ責任を持って、実施手法の改善を含めた事務事業の見直しと優先順位付けを行うとともに、事業を実施するための必要な財源を積極的に確保することなどを前提とした予算編成を行うこととします。』との方針であります。

教育委員会といたしましても、この方針に従って、令和９年度の予算編成作業を進めてまいります。

最後に、全国都市教育長協議会から、国に「令和９年度文教に関する国の施策並びに予算についての陳情」を行いますので、陳情書の写しを委員の皆様に配付させていただきました。

私からの報告は以上であります。

〇教育長（中川宣芳）

それでは、議題に入ります。

初めに、議案第５３号「小牧市スクールバス利用ガイドライン（篠岡地区）の策定について」、事務局の説明を求めます。

長谷川教育部次長。

〇教育部次長（長谷川隆司）

それでは、ただいま議題となりました議案第５３号についてご説明をさせていただきます。

１ページをお願いいたします。

議案第５３号「小牧市スクールバス利用ガイドライン（篠岡地区）の策定について」であります。

この案の提出理由でありますが、「小牧市スクールバス利用ガイドライン（篠岡地区）」を策定するため必要があるからであります。

別冊資料１をお願いいたします。

全体を通してご説明を申し上げます。

本ガイドラインは、学校再編により通学距離が著しく遠距離となる児童の負担軽減と、安全な通学環境の確保を目的として運行するスクールバスについて、その利用及び運行に関する基本的な事項を定めるものであります。

主な内容といたしましては、スクールバスの利用対象者、運行日及び運行時刻、停留所、使用車両を定めるとともに、利用申込みの方法や保護者及び児童に守っていただく利用上の注意事項、学校行事等における運行の取扱い、災害や事故など緊急時の対応等について定めております。

また、利用対象地区の児童については、スクールバスの利用を基本とし、児童の居住状況等を踏まえ、必要に応じて対象エリアや停留所などを見直すこととしております。

今後、本ガイドラインに基づき、児童の安全を最優先に、円滑かつ適切なスクールバスの運行に努めてまいります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

〇教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第５３号について、ご質問等ありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

加藤委員。

〇委員（加藤由美）

スクールバスに一番長く乗る児童は、大体どれぐらいの時間乗ることになるのでしょうか。

〇教育長（中川宣芳）

丸藤教育総務課長。

〇教育総務課長（丸藤卓也）

通学状況、交通状況にもよりますが、およそ２０分から３０分ぐらいが最大の時間となっております。以上です。

〇教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

別件でございますか。

野中委員。

〇委員（野中亮秀）

４のスクールバスの停留所の件について、分かる範囲で結構ですが、路線バスのように道路上に停車して乗り降りするのか、どこか駐車場のように入るところがあるのか、どのようになっていますでしょうか。

〇教育長（中川宣芳）

丸藤教育総務課長。

〇教育総務課長（丸藤卓也）

バスの停留所につきましては、原則、公共用地など、安全に待機できる場所を優先して設定をさせていただいておりますが、公共用地等がなく、やむを得ず路上で乗り降りをしなければならない場所もございます。バスには添乗員がついておりますので、安全に乗り降りができるようにしていきたいと考えております。以上でございます。

〇教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

古田委員。

〇委員（古田重紀）

要望ですが、実際運行してみると、色々問題が出てくることと思います。その時に、あまり杓子定規にやらずに、利用者の方々の意見も、丁寧に聞き取っていただいて、可能な範囲で柔軟に対応していただけると良いと思います。よろしくお願いします。

〇教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

纐纈委員。

〇委員（纐纈由美）

バスの利用の申請は、年に１度ということですが、不登校や、やむを得ない事情の方もいらっしゃると思います。その子たちが年度の途中からバスに乗っていきたいと思った場合に、利用できるような形を取っていただけたらと思いますが、難しいでしょうか。

〇教育長（中川宣芳）

丸藤教育総務課長。

〇教育総務課長（丸藤卓也）

バスの申請につきましては、基本的にはバス利用者をしっかりと把握して、安全に運行するために、年に１回、事前に把握をすることとしておりますが、例えば引っ越しなど、やむを得ない事情の場合は、学校と相談させていただいて、柔軟に対応させていただくようにしたいと思います。以上です。

〇委員（纐纈由美）

よろしくお願いします。

〇教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

（発言なし）

それでは、議案第５３号「小牧市スクールバス利用ガイドライン（篠岡地区）の策定について」は、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議がないようですので、議案第５３号については原案どおり可決することといたします。

続いて、報告・連絡事項に入ります。

初めに、教育総務課お願いします。

丸藤教育総務課長。

〇教育総務課長（丸藤卓也）

初めに、報告第１号「行政文書の開示について」２件報告をさせていただきます。

資料はございません。

最初に１点目です。

令和８年８月２４日付で、市内在住の方より、令和５年度以降の施設、事業者等に対して実施した特別監査や緊急的な立入り調査等の実施記録等について開示の請求がございました。この開示請求に対しましては、教育委員会からは対象文書不存在のため不開示の決定を行い、９月１１日付で請求者の方に通知をいたしました。

次に、令和８年８月４日付で、市内在住の方より、６月２９日学校再編の保護者説明会におけるスクールバス事業者に関する質疑応答の記録の音声データの開示の請求がございました。この開示請求に対しましては、８月１７日付で開示決定を行い、請求者の方に通知をいたしました。

続きまして、連絡事項、１０月、１１月行事予定でございます。
資料の２ページをお願いいたします。
１０月の予定です。
５日月曜日は本会議が開催されます。
１３日火曜日は、総合教育会議が市役所６０１会議室で開催されます。
３ページをお願いします。
２３日金曜日は、午後２時から定例の教育委員会を３０１会議室で開催いたします。
２８日水曜日は、尾張部都市教育長会議が常滑市役所で開催されます。
４ページをお願いいたします。
１１月の予定です。
４日水曜日は、愛日地方教育事務協議会がにっしんマスプロ市民会館で開催されます。
５ページをお願いします。
２０日金曜日は、午後２時から定例の教育委員会を３０１会議室で開催いたします。
１０月、１１月の行事予定は以上でございます。
以上で、報告・連絡事項とさせていただきます。

〇教育長（中川宣芳）

次に、学校教育課お願いします。
櫻井学校教育課長。

〇学校教育課長（櫻井晃生）

それでは、報告第２号「令和８年度全国学力・学習状況調査について」ご報告をいたします。
資料の６ページ及び７ページをお願いします。
今年度４月に令和８年度全国学力・学習状況調査が小学校第６学年及び中学校第３学年を対象に実施されました。
調査教科は、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学、英語です。
調査結果につきましては、市全体の状況を小学校は６ページ、中学校は７ページにまとめております。それぞれ教科の結果を上段に、質問紙調査から把握した学習面、生活面の状況を下段に掲載し、中央には今後の指導改善のポイントをお示ししております。
まず、教科に関する結果についてご説明を申し上げます。
平均正答率では、小学校のほうは全国平均及び県平均とほぼ同等でした。一方、算数は全国平均及び県平均をやや下回る結果となりました。
中学校では、国語及び数学の平均正答率が全国平均及び県平均をやや下回りましたが、英語は全国平均及び県平均とほぼ同等の結果となりました。
小牧市の特徴的な傾向につきましては、小・中学校ごとに教科別で掲載しておりますので、ご確認いただければと思います。

本結果を踏まえ、国語においては、小・中学校ともに話すこと、聞くこと及び書くことの指導の充実を図ってまいります。また、算数、数学においては、図形領域における具体物の操作やＩＣＴを活用した学習を充実させるとともに、図や式を用いて考え、説明する力の育成に重点を置いて取り組んでまいります。

続いて、質問紙調査の結果についてご説明をいたします。

資料下段をご覧いただきたいと思います。

まず、生活面については、小・中学生ともに家庭での基本的な生活習慣がおおむね良好であることがうかがえます。また、家では何語で話しているかという質問に対しては、日本語以外の言語を使用している児童・生徒の割合が全国平均を上回りました。本市では、外国にルーツを持つ児童・生徒が比較的多く在籍していることから、日本語初期教室や国際教室での支援をはじめ、外国にルーツを持つ子どもたちの学力保障に向けた取組を引き続き推進してまいります。

最後に、ＩＣＴ機器の使用状況については、小・中学校ともに県平均及び全国平均を大きく上回る結果となりました。今後は単に使用頻度を高めるだけではなく、ＩＣＴの特性や利便性を生かした効果的な活用を一層推進してまいります。

今年度の中学校英語については、ＣＢＴ方式による調査が実施されました。ＣＢＴとはコンピューターを活用して実施する試験方式です。ＣＢＴ化により、より詳細なデータ分析が可能となり、今後の検証、改善に生かすことができるようになります。なお、来年度の全国学力・学習状況調査は、小・中学校全ての教科においてＣＢＴへ全面移行する予定でございます。

これからの時代を生きる子どもたちには、自ら学び方を工夫、調整し、学んだことを実生活に生かしていく力が求められます。小牧市では「学び合う学び」の授業づくりを引き続き推進するとともに、子どもたちが学習内容や生活経験、興味・関心を基に自ら課題を見いだし、主体的に解決していく力を育成するために、こまき「夢☆チャレンジ」科に加え、各教科においても探究的な学びを推進してまいります。

最後に、これらの結果につきましては、各学校においても詳細な分析を進めております。分析結果については１０月初旬までに保護者向け資料として配付できるよう準備を進めております。

私からの報告は以上です。

〇教育長（中川宣芳）

次に、文化・スポーツ課お願いします。

藤田文化・スポーツ課長。

〇文化・スポーツ課長（藤田伸也）

それでは、文化・スポーツ課より報告第３号から第５号までの「小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について」、一括してご説明をさせていただきます。

８ページをお願いいたします。

報告第３号で、小牧一色剣修会より、「剣道体験会」について、後援名義使用の申請があったものであります。その内容は、剣道の礼節や基本動作を体験してもらい、その魅力を知ってもらうことを目的に、礼節の指導やすり足競争、発声競争などを行うものであります。

１０ページをお願いいたします。

報告第４号で、ＴＥＡＭパフォーマンスラボより、「ＷＩＺＡＲＤ　ＯＦ　ＣＩＲＣＵＳゴッドタレント」について、後援名義使用の申請があったものであります。その内容は、子どもたちに夢や感動を届け、表現力や創造力を育むことや、世界的に活躍するパフォーマーの技術と精神に触れることで努力や挑戦の大切さを学び、文化芸術への理解と関心を深めることを目的に、サーカスとイリュージョンをテーマとした１８歳以下入場無料となる舞台公演を行うものであります。

１３ページをお願いいたします。

報告第５号で、雨情ギターアンサンブルより、「ギター合奏フェスティバル１２」について、後援名義使用の申請があったものであります。その内容は、クラシックギターの合奏１２団体による演奏会を開催するものであります。

これらの３件につきまして、催事の内容を総合的に勘案し、後援名義使用を許可したものであります。

報告は以上であります。

〇教育長（中川宣芳）

報告・連絡事項は以上でございますが、何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

加藤委員。

〇委員（加藤由美）

全国学力・学習状況調査について、２点お伺いします。

まず１点は、算数・数学に関しては、毎年色々な結果が出ているなと感じていますが、国語に関しては、小中学校ともに、考えをまとめて書き表す、相手に伝わるように書くという課題が続いていると思います。そちらについて、どのように考えていらっしゃるのかを教えていただきたいです。

もう１点は、昨年度は、記述式の問題の正答率が低いという課題がありましたが、今回はそのことについて記載がありませんので、記述式の問題については課題がなかったのかを教えてください。

〇教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹。

〇学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹（瀬尾宗利）

ご質問ありがとうございます。

昨年度は書くことについて、何を学んだのか、何を自分が考えたのかといったことを、話す言葉で発するだけではなく、文字として表すというような力を身につけていくことを授業の中でも繰り返し取り組んでいき、そういった力を高めていくことが必要であるとお話ししたと思います。それに加え、書く、それからＩＣＴ機器を使って打ち込んだりする、それも学びの内容や目的に応じて、使い分けていく必要があると考えております。ＩＣＴの活用に関しては、小牧市は、この全国学力・学習状況調査を見ても全国的に高い水準で活用が図られているということは分かっていますが、ＩＣＴだけではなく、実際に書いてみる、そういった活動は、今後も授業の中でやっていきたいと思っております。

また、今年度は記述式の問題について記載がないというご指摘いただきましたが、課題がないわけではございません。ちょうど令和７年度から、探究的な活動について、小牧市は取り組んできております。その中で、子どもたちが学んだことについて、実際に情報を整理したり、統合したり、論理的にまとめていったりするといったところに課題があるということも少し分かってきました。やはり、そういった点について、きちんと自分の考えを論理的にまとめたり、書いたり、それを表現したり、アウトプットしたりというところについては、今後も継続して取り組んでいかなければならないと思っております。

教科の学びや「学び合う学び」を土台にしながら探究的な学習を取り入れて、今後も学力・学習状況調査の結果だけにこだわっているわけではないですが、我々も改善には取り組んでいきたいと思っております。以上です。

〇教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

〇委員（加藤由美）

探究的な学びとの関係をお話しいただきましたが、この探究的な学習が子どもたちの中にしっかり落とし込まれて、そういった形の学習が進められるようになっていくと、様々な面で力がついてくるのではないかと思っています。ですから、探究的な学習で力がついていくような指導をぜひお願いいたします。

〇教育長（中川宣芳）

ほかにご発言はございませんか。

（発言なし）

ほかにご発言もないようですので、これをもちまして令和８年第９回定例教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

＜閉会　午後２時２８分＞

署　　名　　欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員